

第125回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和6年11月25日（月） 13:30～14:46

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Teams 使用）

出席者 藤澤議長（学長）、
角元委員、齊藤委員、坂井委員、高梨委員、伯井委員、平尾委員、
丸谷委員、宮田委員、木戸委員、玉置委員、奥村委員、松尾委員、
森山委員、柿原委員

（オブザーバー）濱田監事、山上監事、玉岡副学長、喜多副学長、眞庭副学長、
大川副学長、藤濤副学長、福本副学長、梅屋国際文化学研究所長、
木村国際協力研究所長、白井農学研究科長、村上医学研究所長

欠席者 山谷委員、久元委員、河端委員

議事要録について

第124回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会
として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 国立大学法人神戸大学職員給与規程等の一部改正について
一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律が公布された場
合は本学においても人事院勧告に準拠することに伴い、以下の規程等の一部改
正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 1 国立大学法人神戸大学職員給与規程
 - 2 国立大学法人神戸大学年俸制適用職員給与規程
 - 3 国立大学法人神戸大学年俸制適用教員（退職手当支給型）給与規程
 - 4 国立大学法人神戸大学船員就業規則
 - 5 国立大学法人神戸大学再雇用職員就業規則
 - 6 国立大学法人神戸大学準正規職員就業規則
 - 7 国立大学法人神戸大学特定有期雇用医療職員就業規則
 - 8 国立大学法人神戸大学役員報酬規程

- 2 非常勤職員等の定額単価の改定について
令和6年人事院勧告に伴い、非常勤職員の定額単価に関し、令和6年10月
に行われた部局長への意見照会を踏まえた令和7年度からの改定案について
説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

3 KU VISION 2030の更新について

本学の教育・研究の目指すべき姿や取組等を広く分かりやすくステークホルダーに示し、本学の掲げる長期ビジョンを実現していくために、第4期中期目標期間を含めた2030年に向けた「KU VISION 2030」を更新することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 2030年までのロードマップについて、年度ごとの進捗状況を評価し、フィードバックする仕組みはあるのか。

→ 法人としては、中期目標期間ごとに、各取組について外部から評価を受ける。また、学内においては、毎年度、部局別にワークシートを作成し、進捗管理を行い、評価をしている。

報告事項

1 病院セグメント令和6（2024）年度上半期決算について

病院セグメントの令和6（2024）年度上半期決算について報告があった。

○ 来年度以降も補助金はあるのか。赤字の場合、部局または大学全体で補填するのか。

→ 令和7年度は補助金がある。補助金は再来年までと見込まれ、それまでに経営状況を改善する必要がある。赤字が出た場合、大学から病院へ貸出し、最終的には返済してもらう。

○ 国立大学病院は構造的に赤字を避けられない状況にあり、国による対策が必要なのではないか。

→ 国立大学病院の赤字は大きな問題であり、文部科学省と厚生労働省で連携して対応いただきたいと考える。厚生労働省へは、診療報酬体制の優遇措置について国立大学協会から申し入れている。

○ 人件費の遡及により、最終決算では計画より悪化するとの理解で良いか。また、病床稼働率90%の計画だが、具体的な方策はあるか。

→ 決算は、人件費の増加を考慮しても計画通りに収まる見込みである。病床稼働率90%は、病棟の患者管理を徹底すれば可能な数字である。

○ 病床稼働率の低迷は多くの国立大学病院に当てはまるものなのか。
要因について、特殊なものがあるのか。

→ 全国的に稼働率が低迷しており、コロナ禍直後に稼働率を上げられなかったことが要因である。働き方改革の影響もあり、過去と同様の政策が困難な中、工夫しながら経営努力を続ける必要がある。

- 2 2024（令和6）年度上半期神戸大学資金運用実績報告について
2024（令和6）年度上半期の資金運用実績について報告があった。
- 3 神戸大学キャンパス情報ネットワークシステム（KHAN）の更新について
次期キャンパス情報ネットワークシステム（KHAN2025）更新にかかる進捗状況について報告があった。
- 4 神戸大学データ資料集2024について
神戸大学データ資料集2024の概要について報告があった。

◎ 次回は、令和7年1月24日に開催予定。